

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金総括表(町費含む。)

平成27年4月1日現在

1 地方創生先行型

No.	事業名(総振上の位置付け)		予 算 概 要	予 定 金 額	
	事業概要				
	総合戦略該当基本目標		該当する交付金実施計画メニュー	重要業績評価指標(KPI)	
1	松伏町人口ビジョン分析基礎調査及び総合戦略策定業務委託(重点戦略(人口増))			10,000 千円	
	審議会委員報酬	232千円	費用弁償		20千円
	調査業務委託料	9,748千円			
松伏町版「地方人口ビジョン」及び「総合戦略」の策定に向け、町の現状を把握し、人口減少、高齢化等の影響を分析した上で、将来目標等を設定し、必要な方策を検討するため実施する調査					
			地方版総合戦略の策定		
2	北部拠点活性化事業(重点戦略(定住化))			14,841 千円	
	消耗品費	270千円	通信運搬費		301千円
	システム導入委託料	377千円	北部拠点活性化事業委託料		6,623千円
	備品購入費	1,270千円	改修工事費		6,000千円(町費含む。)
	老人福祉センターとその周辺地区における地域を町北部の拠点として位置付け、一部の行政事務やソフト事業を展開するため、多世代が利用するのに支障がないよう施設改修や備品整備を行うとともに、一部の事業を前倒して実施していくもの				児童(0歳から18歳まで)の施設来館者数: 1,500人
③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる。		小さな拠点			
④ 時代に合った地域づくり、安心な暮らしを守り、地域間が連携する。		少子化対策			
3	“笑顔で子育て”ふれあい健康づくり事業(子育て支援の施策、健康・福祉・社会保障の施策)			3,000 千円	
	事業委託料	1,500千円			
	備品購入費	1,500千円			
子育て世代から高齢者まで、誰もが健康で笑顔ある町にしていくことが町全体で安心して子供を産み育てる環境整備につながるの考えの下、運動を1つのツールとして、子供から高齢者まで一緒に体を動かし、交流していく中で町全体の子育て意識の向上、健康維持を図る。			子どもとの距離が縮まったと感じる人の割合を事業参加前と比べ増やす		
③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる。		少子化対策			
4	親子で学ぶ防災知識普及啓発事業(子育て支援の施策、生活環境の充実の施策)			2,300 千円	
	消耗品費	1,276千円			
	印刷製本費	308千円			
備品購入費			716千円		
子育て世帯への災害時の備えについて、情報提供が不足がちであることから、子育て世帯向けに災害対処等を記載したパンフレットを作成し、子育て世帯への普及啓発を図るとともに、備蓄品を購入し、体験等を通じた周知をすることで子育て世帯の安全・安心を図る。			各種イベントにおける普及啓発ブースへの子育て親子の来場者数:500人		
③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる。		少子化対策			
5	地産地消促進事業(産業振興の施策)			3,000 千円	
	JAへの補助金				3,000千円
	自分で生産した作物が売れることで収入の確保が図られ、生活への張りを生むことを目的に、町農業の拠点であるJAさいかつ松伏支店に直売所を設置するため補助金を交付する。				農産物直売所への来場者数(6月~3月): 21,000人
④ 時代に合った地域づくり、安心な暮らしを守り、地域間が連携する。		小さな拠点			
6	多子世帯保育料軽減事業(子育て支援の施策)			2,500 千円	
	第3子保育料補助				2,500千円
	出生率の低下を踏まえ、第3子以降の保育料を軽減(1/2減免)することで多子世帯の経済的負担を軽減するとともに、減免に伴う保育所等の運営経費を補填することで、保育料軽減の影響が出ないよう円滑な運営維持を図る(埼玉県と歩調を合わせて行うもの)。				補助を行う児童数:24人
③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる。		少子化対策			
合 計			35,641 千円		

2 地方消費喚起・生活支援型

No.	事業名		予 定 金 額	
	予算概要			
1	プレミアム付商品券発行事業 発行総額 260,000千円		67,600 千円	
	発行額(販売額)200,000千円 プレミアム分(30%)60,000千円			
	プレミアム分補助	40,000千円		埼玉県上乘せ分
商工会補助金		7,599千円	財源調整	1千円(町費)
合 計			67,600 千円	